

京都工業会 ニュース

基本理念

—21世紀を担うモノづくり集団—

京都からモノづくりイノベーション

2013 No.374

小林近畿経産局長を迎え懇談

3/1

3月1日正午、ホテルグランヴィア京都に小林利典近畿経済産業局長を迎え、本会主要役員と中堅企業を中心とした地域経済の活性化について懇談及び意見交換を行った。



当日は本会から服部会長、作田、武田、天野、依田、片岡副会長ら13名が出席した。

最初に小林局長から中堅企業を軸とした政策検討について、中堅企業はそれなりの規模と機動力を有し、多くの関連企業を併せ持つことから、これら中堅企業への施策を講ずることが、地域経済の活性化に有効と考えているし、また企業成長への環境整備に国へ期待するものについて意見を聞かせてほしい、と述べられた後、補正予算及び税制についての紹介がなされた。

これを受けて、出席者から国及び近畿経済産業局への政策要望、そして自社の業況についての報告がなされた後、活発な意見交換がなされ、有意義な懇談会を終えた。

中堅企業委員会

2/5

プライミクス(株)を訪問

2月5日、本会中堅企業委員会（委員長：竹ノ内壯太郎 三和研磨工業(株)社長）では大阪市福島区のプライミクス(株)に古市 尚社長を訪ね、工場見学及び意見交流を行った。



＜同社の概要＞

創業：1927年 設立：1949年

資本金：8019万円 従業員数：約200名

* 高速攪拌機のパイオニアとして流体の攪拌や、移送の最高技術とソリューションを提供するオンリーワン

企業として著名

* 2005年、社名を現社名に変更

（旧社名：特殊機化工業(株)）

* 「2009年度関西経営品質賞」受賞

「大阪ものづくり優良企業賞2010」

最優秀企業賞受賞

工場見学の後、古市社長から経営品質向上をめざした様々な取り組みについて次により講話がなされた。

2002年に副社長に就任以来（2004年に社長就任）、自分なりに今後のわが社のあるべき姿、経営の基本的な考え方と今後の経営戦略について、「お客様、社員、ブランド力強化」の視点で、常に考える組織になるためにどうすべきかを考え続けてきた。

それまでの自社の状況は、①社内コミュニケーションのあり方が問題、②尋ねたことへの回答にすぐ時間を要する、③社員が生き生きと働いていない の3点に集約され早急に対策を考えねばならなかった。

そのためには経営品質の向上が不可欠として7つのポイントを掲げた。

1. 経営幹部のリーダーシップの必要性
2. 経営における社会的責任
3. 顧客、市場の理解と的確な対応
4. 戦略の策定と展開
5. 個人と組織能力の向上
6. 顧客価値創造のプロセスの追求
7. 情報マネジメントシステムの確立

これらの課題に挑むことにより、プライミクスブランドの成長をめざし、個の能力が発揮され、それが企業の力となりお客様の信頼を得て、永く社会から必要とされることがわが社の存在意義だと確信している、と述べられた。これを受けて同社長をかこみ経営全般について活発な意見交換を行い、同社を辞した。

その後席を変えて委員会を開催、新年度に向けた委員会活動について意見を交わし、盛会裡に同委員会を閉会した。

2013年 京都工業会・新春交歓会を開催

1/21

～和やかに・賑やかに交流～



1月21日夕、ハイアットリージェンシー京都において、『2013年 新春交歓会』が、会員企業トップを中心に約130名の出席を得て盛大に開催された。本会の会員相互が和やかに交流し、親睦を深めることを目的とした本交歓会は、今回が20回目となる。

最初に、服部重彦会長より、「長く続いてきた厳しい経済状況から、漸く過度の円高の修正、株価の回復等により景況の先行きに期待感が高まってきました。しかしながら、グローバル市場における更なる成長のためには、日本が誇る「モノづくり」の向上が尚一層求められてきていると思います。そのためにも会員相互のこれまで以上に緊密な交流を通じて、各企業及び工業会の更なる発展を目指していききたいと思います。本日は大いに語り合い、楽しんで下さい。」との開会挨拶が行われ、続いて、林 泰彦副会長の乾杯発声により賑やかに開宴となった。

しばらく会食懇談を行った後、昨年の総会以降入会された、大東工業(株)代表取締役相談役 森 次郎氏と(株)三煌産業会長 渡辺裕文氏が登壇、両社の紹介と挨拶が行われ、盛大な拍手が送られた。続いて恒例の「福引大会」が行われ、会員企業65社より提供いただいた過去最多の101組にも上る景品の当選者が次々と発表され、各品が舞台上で服部会長はじめ各副会長から手渡されると、会場からは拍手と歓声が何度も沸いていた。

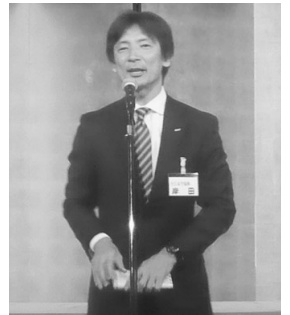


▲福引大会



▲ハッピーマンを目指して、ジャンケン

更に会食懇談・交流が進み、会が盛り上がる中、締めくくりのプログラムである、「2013年ハッピーマン選び」が行われた。各テーブルでジャンケンをし、勝ち残った人達が舞台上に集合、そこで再度ジャンケンをして最後に勝ち残った人が今年の幸運の「ハッピーマン」、惜しくも敗



▲2013年 ハッピーマン

れた他の各テーブル代表者が準ハッピーマンとなる、本交歓会恒例の名物プログラムである。「2013年ハッピーマン」は岸田 洋氏(全日本空輸(株)京都支店 支店長)で、服部会長より記念品が手渡され喜びのスピーチが行われると満場の参加者から大きな祝福の拍手が送られた。

その後も大いに懇親交流が行われ宴が盛り上がる中、片岡副会長より、「円安・株高でムードが良いが、ムードに頼ることなく、自社の強みや技術を磨いて頑張っていきましょう。」との閉会挨拶が行われ、2013年新春交歓会は、盛況裡に閉幕した。

新入会員ご紹介

(3月8日、第289回理事会で承認されました。)

〈正会員〉

日本 たばこ 産業(株) 関西工場

工場長 光 井 芳 喜

〒612-8487 京都市伏見区羽東師菱川町351

TEL.075-934-5111 FAX.075-934-0190

たばこ(国内・海外)、医薬、食品、その他

〈賛助会員〉

社会保険労務士法人 中嶋事務所 京都支店

代表社員 中 嶋 忠 男

〒604-8006 京都市中京区河原町通二条下ル

二丁目下丸屋町403

TEL.075-555-3456 FAX.075-256-8660

社会保険労務士業、労務管理業

第45回 通 常 総 会 〈予告ご案内〉

と き:平成25年5月17日(金) 15:00~18:30

ところ:京都東急ホテル

議 題:・第45期事業報告及び収支決算承認の件

・基本財産の取り崩しの件

・第46期事業計画及び収支予算報告の件

・定款の一部改正の件

・常勤の理事の年間報酬総額決定の件

・役員の選任の件

第550回京都工業クラブ

1/18

宇宙が日本を元気にする

京都大学 生存圏研究所 教授

内閣府宇宙政策委員会 委員 山川 宏氏

最近、通信衛星や測位衛星、放送衛星等生活密着型の「宇宙」が日常に・社会に浸透してきている。そこで、宇宙の魅力と可能性について、気鋭の京都大学・山川教授をお迎えし、お話を伺った。宇宙開発利用の歴史や国家戦略としての宇宙基本計画の概要、衛星分野の国際動向と日本の位置付け等々、豊富な資料を基に解説をされ、「宇宙の科学力・技術力を生活や産業など国全体を元気にするツールと捉え、生活密着型の宇宙が日本を元気にしていくと考えている。」と述べられた。



第551回京都工業クラブ

2/19

日本経済の現状と展望

日本銀行 京都支店長 鎌田 沢一郎氏

昨年末、「日本経済再生」を掲げて誕生した安倍政権の経済・財政政策が注目されている中、日本銀行京都支店長・鎌田氏をお迎えし、お話を伺った。まず、欧州・米国・中国そして我が国の経済動向の解説、続いて日本銀行の金融政策を紹介され、最後に日本経済が抱えている中・長期的課題として、・人口動態の変化（人口減少、働き手の確保）・高齢化需要への対応・財政規律の確保・産業競争力の向上等を挙げ、今後の展望を述べられた。



第552回京都工業クラブ

3/19

アルジェリアでの人質事件から学ぶこと

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科
研究科長・教授 内藤 正典氏

アルジェリアでのイスラム武装勢力による人質事件は我が国に衝撃を与え、今後の企業活動に課題を残したことから、長年イスラム社会の研究を重ねてこられた同志社大学・内藤教授をお迎えし、お話を伺った。最悪の事態への対処の仕方、日常生活の中で気を付けること、企業としての安全管理、イスラムについての基本理解等、豊富なお話に基づいた興味深いお話がなされ、イスラム社会への理解を深めることができた。



京都高等技術・経営学院

第32回 電子システム研究科 11名

第29回 メカトロニクス研究科 23名が修了

2月20日(水)午後、平成24年度の京都高等技術・経営学院（学院長：天野嘉一副会長）の長期研修2コースの修了式が京都工業会館にて行われた。

当日は、修了証書の授与、皆勤・精勤賞の授与に続き、学院長 天野本会副会長の式辞、そして来賓の京都府中小企業技術センター 副所長 三宅修二氏（京都府知事代理）より祝辞が述べられた。式の後にはささやかな懇親会が行われ、半年以上に及ぶ長かった研修期間を振り返りつつ、和やかな雰囲気の中に終了した。

<第32回 電子システム研究科>

修了生 11名（11社）

皆勤賞 （2名）

竹内 宏展（㈱大日本科研）

兼田 真司（㈱三橋製作所）

精勤賞 （2名）

青木 健吾（㈱島津製作所）

溝尻 智之（ニチコン亀岡㈱）

<第29回 メカトロニクス研究科>

修了生 23名（18社）

皆勤賞 （10名）

宮島 勝（㈱片岡製作所）

三谷 浩司（旭光精工㈱）

寶田 浩延（㈱島津製作所）

三輪 貴俊（㈱島津製作所）

中村 至一（太陽精機㈱）

畠山 昌幸（㈱大日本科研）

赤塚 周平（トクデン㈱）

明田 直樹（日新電機㈱）

島田 史恭（日東精工㈱）

大西 克治（日本輸送機㈱）

精勤賞 （3名）

池之内隆志（㈱カシフジ）

毛利 智美（京セラ㈱）

北口 壮一（㈱三橋製作所）

～異業種の風土(手法、仕組み、ものの見方、考え方)に相互に触れ、注目の現場力及び人間力の向上を図る～

平成25年度 業務革新研究会・会員募集

- ◇開催目的 各種手法やものの見方や考え方を磨き、業務革新を推進する人材の育成を図る
- ◇対象 管理技術関連部門のリーダー（主任、係長）及びその候補
- ◇会場 京都工業会館（京都市右京区西京極豆田町2）他
- ◇期間 平成25年4月～平成26年2月（計11会合） 13：30～17：00（但し6～7月例会は10：00～17：00）
- ◇運営 ①メンバーの目標や課題について、正副主査（その年度の登録メンバーより選出）を中心に企画し、基本を踏まえた実践的な運営を図ります。
②メンバー間のギブ&テイクや専任アドバイザーの助言、ゲスト講演、工場見学、演習などを効果的に実施いたします。
- ◇メリット ①実践的な内容により、一般のセミナーでは得られない幅広い視野と発想力を養うことができます。
②メンバー間やアドバイザー及びゲスト講師との人的ネットワークが構築できます。
- ◇展開 前期・基本編（5月～9月）⇒参加目的や実務経験に応じた選択制を採用
Aコース：手法や考え方を基礎から学ぶ、Bコース：応用実務研究（展開&定着化）
後期・実務編（10月～2月）⇒コース毎の課題の掘り下げ（※必要に応じ実習、大会等を開催します。）
※定例活動以外に**特別合宿研修会**（1回：全研究会対象、希望者のみ）を別途開催します。（要特別会費）
- ◇年会費 各研究会毎に1口 京都工業会 会員企業 **70,000円**（税込）
（但し、1口につき2名の参加ができますので、**極力2名ご登録願います。**）
- ◇お申込 (公社)京都工業会 業務課 TEL.075-313-0751

＜8 研究会の主な研究予定項目＞

品質革新研究会

～初期流動管理及び工程内品質対応による品質革新力の強化～

- ◇初期流動管理による生産初期段階の品質向上
- ◇手法活用による工程内不具合及びサプライヤー、客先クレーム&故障解析
- ◇企画、開発段階での新製品評価方法
- ◇ソフトウェア開発における品質保証方法
- ◇企業訪問や講演による先進企業の事例研究

生産管理研究会

～TOC制約条件理論による生産管理革新～

- ◇生産管理の基礎研究ともの作りにおける問題解決方法
- ◇生産方式(MRP、製番、かんばん)の違いと管理ポイント
- ◇生産管理システムとIT活用事例(ERP)
- ◇先進企業の訪問や事例紹介に学ぶ生産管理システム
- ◇参加企業における全体最適もの作りの研究(TOC実践演習)

VE(開発・設計革新)研究会 ～機能研究による付加価値の追求～

- ◇簡易演習によるVE活動の実施手順
- ◇開発設計プロセスにおけるVE活用
- ◇開発設計プロセスにおけるQFD、DR
- ◇開発、設計段階のVE実践研究(付加価値向上)
- ◇先端事例に学ぶVE実践&リーダー育成方法

購買調達革新研究会 ～購買調達革新によるコスト競争力の強化～

- ◇あるべきコスト(例:PCS)の求め方と運用及びコスト体系
- ◇購買市場調査の計画立案と進め方
- ◇パートナー企業の集約・評価、指導、育成方法
- ◇下請法に基づく集中購買、拠点購買、開発購買等、購買戦略
- ◇グローバル調達とSCMを組み合わせた新しい調達方式

生産革新研究会:基礎IE部会

～IE手法による徹底したムダの排除～

- ◇3S、5Sの導入・定着と効果的な運用方法の事例研究
- ◇IE手法・通り診断法による効果的な現状分析
- ◇標準作業3点セットによる改善方法
- ◇現場改善実習による作業改善方法の実践研究
- ◇外部企業訪問によるIE活用事例研究

生産革新研究会：JIT改善部会

～トヨタ生産方式による生産革新力の強化～

- ◇JIT生産構築方法
- ◇流れ生産方法
- ◇平準化方法及び各種ツール活用
- ◇かんばん、ストアの運用・管理
- ◇JIT生産企業の訪問やメンバー企業におけるJIT実践研究

生産現場リーダー力強化研究会

～監督者哲学、リーダーシップ養成の場～

- ◇作業の標準化による品質の作りこみ
- ◇改善提案、5S、KY活動による強い現場作り
- ◇製造コストダウン ◇リーダーシップ
- ◇参加企業及び外部企業訪問による現場管理・改善事例

設備保全(TPM)研究会 ～自主保全、個別改善、LCAによる設備稼働率の向上～

- ◇生産システム効率化の個別改善
- ◇オペレーターの自主保全体制づくり
- ◇保全部門の設計保全体制づくり
- ◇品質保全体制づくり
- ◇先進工場訪問によるTPM活動の推進事例の研究及び参加企業でのTPM実践研究

第15回 京都KAIZEN大会を開催

今、変種変量短納期生産の時代を迎え、生産部門には段取り改善やカンバン方式によるフレキシブルな生産体制の構築が求められているが、本会ではこれらの課題への対応事業として、1999年より「京都KAIZEN大会」を開催している。

この事業は、IE手法の効果的な活用方法を研究している本会・生産革新研究会：基礎IE部会及びトヨタ生産方式の構築方法を研究しているJIT改善部会をベースに広く会員内外に参加を呼びかけており、今回は72社135名の参加者を得た。

冒頭、技術・教育委員会 委員長 太田 稔（日新電機(株)人材開発部主幹）が「厳しい経済情勢の今こそ、他社の改善事例や講演を通し、今後の自社の生産革新活動に活かして欲しい」と挨拶。

まず、第1部として、基礎IE部会が、オムロン京都太陽(株)で行った現場改善実習についての成果をそれぞれ報告した。

その後、実習会場をご提供いただいたオムロン京都太陽(株)社長付 吉岡 隆氏が、「自社では出ない切り口の改善案を多数出していただき、有難い。今後、出来るテ

ーマから取り組んでいきたい」とコメントを述べられた。

そして、基礎IE部会アドバイザー 吉植久正氏（NPSソリューション代表）が「学んだIE手法を効果的に活用できた実習だった。やはりIE手法は繰り返し、活用することで使う幅を広げていただきたい」と年間活動をまとめた。

続いて、トヨタ生産方式の構築方法を工場見学を通し、研究してきたJIT改善部会より、JIT見学事例やOB企業訪問による生産革新活動のポイントを報告、JIT改善部会アドバイザーの岩井一郎氏（生産システム改善研究所所長）が、「経済情勢が悪い時こそ、JIT生産構築のポイントである生産の平準化と情報化で各部門をスルーにつなぐ事に注力いただきたい。」と年間活動を総括した。

そして、第2部は、トヨタ自動車(株)技監 林 南八氏をゲストに迎え、「元気出せ、日本のモノづくり～トヨタ生産方式の本質と進化（深化）～」と題し、特別講演を拝聴、「徹底した改善活動の継続こそが、危機の時代にも迅速かつ適切な対応ができる人間力や現場力養成の手段である。」と切説され、盛況裡に大会を終えた。

平成25年度

知的財産権研究会 ご案内

- 目 的** 知財スタッフとしての業務推進力の向上、及びヒューマンネットワークの構築
- 対 象 者** 知的財産権関連部門の中堅実務者及び同候補
- 期 間** 平成25年5月23日(木)～平成26年2月
原則として毎月第4木曜日 13:30～17:00開催
- 会 場** 京都工業会館ほか
- 運 営** ①代表幹事を中心に企画し、参加者の意見を基に柔軟に運営を図ります。
②◇ゲスト講演 ◇企業見学 ◇裁判傍聴・口頭審理傍聴 ◇判例研究 ◇ディスカッション等の活動手法を用いて知財感覚を磨き、効果的に実力アップを目指します。
- メリット** ①特許権等の関心が高い領域の課題や実務上の悩みなどについて、基本を踏まえた実践的な運営により普段の業務では得られない実力を付けて頂きます。
②一般のセミナーや社内のみでは得難い幅広い視野や考え方を養え、社内での問題解決の糸口を得ることができます。

専任アドバイザー 調 整 中

年 会 費 本会会員企業 70,000円／1口（税込）
（1口2名まで登録可能です。）

問 合 せ (公社)京都工業会(業務課)TEL.075-313-0751

【京都府より】

平成25年度「夏季の適正冷房と軽装勤務」

の取組について

関西広域連合では、関係自治体や企業にも協力を呼びかけて、温室効果ガス削減のための広域取組を推進しているところですが、本年度は、夏季の取組が下記のとおり実施されます。

つきましては、貴団体及び会員企業等においてもこの取組の趣旨を御理解の上、一層の御協力をお願いします。

○平成25年度「夏季の適正冷房と軽装勤務」の取組

1. 実施期間 平成25年5月1日(水)～10月31日(木)
(上記期間内で、地域の気候に合わせて対応をお願いします。)
2. 取組内容 ①適正冷房(28℃)の推進
②軽装勤務の普及・定着

また京都府においても「ふちよう夏のエアコン・アクション」を、関西広域連合の取組と歩調を合わせ、下記のとおり実施しますので、併せてお知らせします。

「ふちよう夏のエアコン・アクション」

1. 実施期間 平成25年5月1日(水)～10月31日(木)
2. 取組内容 ①軽装勤務の励行
②適温冷房(28℃)の徹底
③省エネ行動の実施

平成24年度 京都府優秀技能者表彰

「現代の名工」

〈義肢・装具製作〉(株)洛北義肢 金子 幹雄氏
〈金属プレス〉 クロイ電機(株) 平尾 康司氏

平成24年度 京都府青年優秀技能者奨励賞表彰

「明日の名工」

〈金属プレス〉 (株)最上インクス 岩井 秀樹氏

本会関係では3氏が受賞されました。
会員各位とともに、心よりお祝い申し上げます。

平成24年度 京都中小企業技術顕彰

技術大賞受賞

◆朝日レントゲン工業(株) (社長：中村 通氏)

優秀技術賞受賞

◆(株)阪口製作所 (社長：阪口 雄次氏)

(公財)京都産業21による、京都中小企業技術顕彰を、
本会関係では2社が受賞されました。

心よりお祝い申し上げますとともに、益々のご発展をお祈りいたします。

事務局だより

<人事>

業務課課長 宮田 哲也 (前 業務課主幹)

4月1日より、新しく職員を迎えましたので、
ご紹介いたします。

事務局次長兼総務課長

町田 徳男



業務課

小嶋 大樹



外部情報

【京都労働局・京都府・京都市より】

雇用の安定と就労条件の改善について

1. これからの未来を担う若者や女性、障害者、高齢者をはじめ、求職者への積極的な雇用の確保につきまして、一層の御配慮をお願いいたします。
2. それぞれの企業の状況を踏まえ、給与等の就労条件の改善につきまして、一層の御配慮をお願いいたします。

【京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府文化環境部・
京都府立高等学校長会・京都市立高等学校長会・
京都府私立中学高等学校連合会より】

高等学校生徒への求人の拡大等について

平素は京都の未来を担う子どもたちの育成に温かい御理解・御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、今春の高等学校・特別支援学校高等部卒業者の就職につきましても、格別の御高配をいただきましたことに、重ねてお礼申し上げます。

卒業生は、日々の社会生活の中で戸惑いながらも、いきいきと前向きに頑張りと活躍しているところです。在校生も先輩に続くべく、インターンシップ等のキャリア教育、日々の教科学習の中で、社会人・職業人としての資質や能力を身に付けるよう励んでおります。

さて、景気はやや上向き、雇用情勢も持ち直しつつあるものの、リーマンショック以前の水準まで回復しておらず新規学校卒業予定者の就職環境は依然として厳しいものとなっています。東日本大震災などの影響から課題は多様化する中、来春の高等学校・特別支援学校高等部卒業予定者の求人募集動向について、在校生の関心と不安はこれまで以上に高まってきております。

このような状況の下、私ども京都府内の高等学校・特別支援学校関係者といえども、貴団体との相互の連携をよりいっそう密に図りながら、柔軟でたくましく、何事にも主体的に対応できる人材の育成に努めるとともに、生徒の就職希望をかなえるべく、就職希望生徒一人一人に対して、これまで以上にきめ細やかな進路指導を行う所存です。

貴団体加盟企業の各社様におかれましては、経営環境等は大変厳しいことと存じますが、引き続きインターンシップなどを通じた職業観・勤労観の醸成に御支援いただくとともに、京都府内の高等学校・特別支援学校高等部卒業予定者に対する求人数並びに求人枠を確保していただき、積極的に採用していただきますよう、切にお願い申し上げます。

京都工業会ニュース No.374

■2013年5月7日発行

■発行——公益社団法人 京都工業会

☎615-0801 京都市右京区西京極豆田町2
TEL.075(313)0751 FAX.075(313)0755
U R L : <http://www.kyokogyo.or.jp>
E-mail : info@kyokogyo.or.jp